

令和6年度第1回成田警察署協議会

1 開催日

令和6年5月28日（火曜日）

2 開催場所

成田警察署

3 出席者

・協議会委員 11人 ・警察署 15人

4 業務報告

- (1) 春の全国交通安全運動の取組について
- (2) 山車祭り警備及び祇園祭に向けた準備
- (3) 令和6年4月末現在の犯罪情勢について
- (4) 令和6年4月末現在の交通事故発生状況等について

5 警察署からの諮問事項

なし

6 委員からの要望・意見等

- (1) 【意見】 今後、ますます増加が懸念される認知症高齢者徘徊にかかる行方不明者捜索について、警察署としての考えなどについてお聞かせ願いたい。

【回答】 当署管内における認知症高齢者の行方不明事案については、本年4月末までで10数件の発生があり、全て発見しています。

警察署としては、事案を認知した際には、不明時の状況聴取を速やかに行い、携帯電話の位置探査や付近防犯カメラの解析、挙署一体となった捜索活動等により早期の発見に努めております。また、必要に応じて機動隊の派遣等、県警本部とも連携して捜索活動を行っております。

あわせ、「成田地区SOSネットワーク事業」の活用や各市町村の防災無線の活用など、あらゆる手段を用いて早期発見に努めております。

- (2) 【質問】 JR成田駅東口交差点は、横断者が多数いることから、右左折する車両が滞留してしまい渋滞が多々発生する。歩車分離化について、検討頂きたい。

【回答】 同交差点の歩車分離化は、車両の待ち時間が増加してしまうことと、隣接する信号機との距離が短いことから、妥当ではないと考えます。

信号機サイクルを調整することで、渋滞を緩和させることが可能ではないかと考えています。

現地調査を行ったうえで、本部交通規制課とも調整を行い、緩和に向けたサイクル調整を行っていきたいと考えています。

(3) 【質問】 県道115号線（久住停車場十余三線）は、中学校の通学路となっているが、交通量が多い上に道幅が狭いことから、自転車と車両の接触事故がいつ起きてもおかしくない状況にある。このことから、警察から道路管理者等に対し幅員拡張に向けた働きかけをして頂きたい。

【回答】 県道の整備については、県の土木部が担当しています。本件要望があった事については、当署からも県へ働きかけを行います。

あわせ地域住民からも、意見をとりまとめ、県へ要望を具申することも重要だと思われます。

当署としましては、改良されるまでの間、通学路の安全対策として注意喚起を促す看板の設置やパトロールの強化などに努めて参りたいと考えております。

(4) 【質問】 横断歩道の白線塗装が削れ見えにくくなっているものがあるので、白線の塗装をお願いしたい。

【回答】 具体的な場所を聞かせて頂ければ、現場確認の上、警察本部交通規制課に再塗装の要請を行っていきます。

7 答申等に対する措置結果

なし

8 その他

新規委員に対し、委嘱状の交付を行いました。